

令和 8 年度 生命地域妙高環境会議総会 次第

日時：令和 8 年 5 月 8 日（金）

1 5 時 3 0 分～1 7 時

会議：妙高市役所 3 階 3 0 3 会議室

1. 開 会

2. 議長あいさつ

3. 自己紹介

4. 議 題

議案第 1 号	令和 7 年度	生命地域妙高環境会議事業報告について
議案第 2 号	令和 7 年度	生命地域妙高環境会議一般会計決算報告について
議案第 3 号	令和 7 年度	入域料事業報告について
議案第 4 号	令和 7 年度	入域料特別会計決算報告について
議案第 5 号	令和 8 年度	生命地域妙高環境会議事業計画（案）について
議案第 6 号	令和 8 年度	生命地域妙高環境会議一般会計予算（案）について
議案第 7 号	令和 8 年度	入域料事業計画（案）について
議案第 8 号	令和 8 年度	入域料特別会計予算（案）について

5. そ の 他

6. 閉 会

生命地域妙高環境会議

委 員 名 簿

任期：R8.4.1からR10.3.31まで

氏 名	委員（所属・役職）	備 考
鳥 居 敏 男	一般財団法人 自然公園財団 専務理事	議 長
城 戸 陽 二	妙高市 市長	
土 屋 俊 幸	東京農工大学 名誉教授	入域料部会部会長
小 林 篤	長野県環境保全研究所 自然環境部 研究員	
濁 川 明 男	妙高里山保全クラブ 前顧問	
菅 野 由起子	公益社団法人日本山岳ガイド協会	監 事

氏 名	顧問・アドバイザー（所属・役職）	備 考
秋 本 周	環境省信越自然環境事務所 妙高高原自然保護官事務所 自然保護官	
松 井 章 二	林野庁関東森林管理局 上越森林管理署 署長	
加 藤 高 史	新潟県上越地域振興局健康福祉環境部 環境センター 環境課長	

令和 7 年度 生命地域妙高環境会議事業報告について

1 生物多様性保全活動の推進

(1) いもり池スイレン駆除活動

予算額 3,650,000 円 決算額 3,681,262 円

【春季：6月21、22、26、27日の4日間】延べ133名

(地元地区、環境サポーターズ、ビジターセンター、環境省と協働)

- ・水面藻刈船によるスイレンの刈取り・水揚げ
- ・防草シートの連結作業及び湖底敷設のための土のう作成
- ・防草シートの湖底敷設作業（防草シート 1,200 m²）

【秋季：9月20、21日の2日間】延べ62名

(地元地区、環境サポーターズ、ビジターセンター、環境省と協働)

- ・水面藻刈船によるスイレンの刈取り・水揚げ





【春季：6月】

刈取り前

→

刈取り後



(2) オオハンゴンソウ駆除活動

予算額 100,000 円 決算額 90,156 円

(入域料会計との合算 予算額 400,000 円 決算額 360,624 円、

うち、入域料会計分 予算額 300,000 円 決算額 270,468 円)

【笹ヶ峰高原：8月29日】計53名

(地元地区、地元保全団体・関係機関、環境サポーターズ、環境省と協働)

・登山口、キャンプ場、トクサ沢周辺で駆除(850キロ超)

・空撮によるオオハンゴンソウの生育面積調査、生育密度調査

(笹ヶ峰オオハンゴンソウ駆除作業評価業務委託)

⇒オオハンゴンソウが広範囲に繁殖していることから、繁殖状況と
駆除作業の効果を定量的に把握し、活動指標とするもの

【燕温泉：9月13日】計35名

(環境サポーターズ、環境省と協働、新潟大学の学生より協力)

・登山口周辺で駆除(400キロ超)



(3) いもり池湿原ヨシ刈り活動

予算額 30,000 円 決算額 5,655 円

【11月7日】計 17 名

(環境サポーターズ、環境省と協働)

・いもり池湿原南端一部でヨシの刈り取り



2 プロジェクトの推進

(1) 火打山自然再生プロジェクト

予算額 2,560,000 円 決算額 2,522,572 円

(入域料会計との合算 予算額 3,200,000 円 決算額 3,153,215 円、
うち、入域料会計分 予算額 640,000 円 決算額 630,643 円)

※クラウドファンディング及び入域料を充当して実施するため、生命地域妙高環境会議入域料会計と合算。

①火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務委託

予算額 1,360,000 円 決算額 1,311,200 円

(入域料会計との合算 予算額 1,700,000 円 決算額 1,639,000 円、
うち、入域料会計分 予算額 340,000 円 決算額 327,800 円)

※下線は委託料総額

【8月20日～22日】延べ89名

(環境サポーターズ、環境省、森林管理署と協働)

- ・環境改善事業(山頂直下、ライチョウ平でイネ科植物の除去作業)
- ・環境改善事業前後の植生調査、センサーカメラ調査、ライチョウ捕食者に係る糞採取



提供：長野県環境保全研究所 小林 篤

②頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査委託

予算額 800,000円 決算額 792,000円

(入域料会計との合算 予算額 1,000,000円 決算額 990,000円、
うち、入域料会計分 予算額 200,000円 決算額 198,000円)

※下線は委託料総額

- ・繁殖期及び非繁殖期におけるライチョウ個体数調査
- ・32羽を確認 (火打山:26羽、焼山:6羽)

③ライチョウ捕食動物糞のDNA調査委託

予算額 400,000円 決算額 400,000円

(入域料会計との合算 予算額 500,000円 決算額 500,000円、
うち、入域料会計分 予算額 100,000円 決算額 100,000円)

※下線は委託料総額

- ・①で採取したライチョウ捕食者の糞のDNA分析

④その他事業実施のためのボランティア保険料及び振込手数料等

決算額 19,372円

(総額:24,215円のうち、入域料会計分 決算額 4,843円)

(2) 奥山、里山、里川の再生・保全プロジェクト

○渋江川クリーン作戦

予算額 20,000円 決算額 0円

- ・雨天による河川増水に伴い中止

(3) 高層湿原保全事業

予算額 200,000円 決算額 198,236円

(入域料会計との合算 予算額 700,000円 決算額 693,825円、
うち、入域料会計分 予算額 500,000円 決算額 495,589円)

- ・火打山高谷池・天狗の庭湿原における植生資料、気象データ、
保全対策に係る既存文献等の収集・整理
- ・現地調査の手法検討及び実施計画(案)の作成
(火打山高谷池・天狗の庭湿原環境調査実施計画作成業務委託)

3 情報発信機能の充実

○環境会議公式ホームページによる情報発信(ホームページの一部改修)

○火打山登山道でのスマートフォンを活用した自然環境等の情報提供システム
「火打山ナビ」の運用

4 環境サポーターズ制度の運営

○生物多様性保全活動やプロジェクトを実施するためのボランティア団体の運営及び会員募集

- ・令和7年度末現在 447 名が登録（令和6年度末から 54 名の増）
- ・いもり池スイレン駆除活動、ライチョウ生息環境改善事業（イネ科植物除去作業）、オオハングソウ駆除活動、いもり池湿原ヨシ刈り活動に協力

○環境サポーターズ加入者には、国立公園オリジナルTシャツ及び活動キャップの進呈

- ・国立公園 10 周年記念Tシャツを作製（令和8年度に配付）



5 希少野生動植物保護活動

- 妙高市希少野生動植物保護条例に基づく指定希少野生動植物の保護
 - ・ 指定希少野生動植物捕獲禁止の啓発看板の設置（4月から10月まで）
 - ・ 希少野生動植物保護監視員による監視及び指導活動（通年）
 - ・ 指定希少野生動植物の現地調査（年2回 有識者、ビジターセンター）
- 高山植物等の保護に向けた啓発活動の実施
 - ・ 盗掘防止看板の設置（6月から10月まで）

6 笹ヶ峰高原除草清掃活動（環境省委託費充当事業）

- 笹ヶ峰集団施設地区歩道草刈り及び清掃活動
 - ・ 遊歩道の草刈り、倒木処理及び清掃活動等（6月から10月まで）

7 自主財源確保に向けた取組

- 自然環境保全のための入域料の収受の実施（環境会議入域料部会）
 - 収受額 5,105,500 円（対前年度比：129,965 円の増）
- つながる募金、第一スーパー（レジ袋売上の寄附）、ビジターセンター募金箱等からの寄附等 合計 185,138 円
- ＜＜関連事業＞＞
 - ・ ライチョウ保護のためのクラウドファンディングの実施（市環境生活課）
 - 寄附額 2,460,800 円（対前年度比：17,200 円の減）

8 その他

- いもり池周辺環境保全作業

令和7年度 生命地域妙高環境会議一般会計決算報告について

1. 歳入

(単位:円)

款	項	目	予 算	決 算	差 額	備 考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	9,174,928	8,569,885	△ 605,043	市負担金
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	1,295,051	1,295,051	0	令和6年度繰越金
4 受託費	1 受託費	1 受託費	668,000	668,000	0	環境省委託費
5 諸収入	1 諸収入	1 雑収入	62,021	185,138	123,117	各種寄附、決算利息
		合 計	11,200,000	10,718,074	△ 481,926	

2. 歳出

(単位:円)

款	項	目	予 算	決 算	差 額	備 考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	380,000	250,404	△ 129,596	委員謝金、費用弁償
	2 事務費	1 事務費	1,000,000	548,514	△ 451,486	事務消耗品、車両管理費ほか
2 事業費	1 事業費	1 スイレン駆除	3,650,000	3,681,262	31,262	保険代金、防草シート、関係資材、刈取委託ほか
		2 オオハンゴンソウ駆除	100,000	90,156	△ 9,844	保険代金、駆除作業評価業務委託
		3 ライチョウ保護・火打山自然再生	2,560,000	2,522,572	△ 37,428	生息地回復調査業務委託ほか 財源: R6クラウドファンディング寄附金2,478,000円
		4 渋江川クリーン作戦	20,000	0	△ 20,000	河川増水に伴う中止
		5 里川保全負担金	61,000	60,825	△ 175	里川保全負担金
		6 希少野生動植物保護活動	50,000	13,210	△ 36,790	調査に伴う有識者謝金
		7 高層湿原保全事業	200,000	198,236	△ 1,764	湿原環境調査実施計画作成業務委託
		8 いもり池ヨシ刈り	30,000	5,655	△ 24,345	保険代金、消耗品
		9 夢見平湿原保全活動	70,000	0	△ 70,000	
		10 笹ヶ峰高原除草清掃活動	650,000	580,865	△ 69,135	環境省委託費充当事業
		11 ホームページ運営費	250,000	80,630	△ 169,370	ホームページ保守・改修委託
		12 環境サポーターズ制度推進費	1,500,000	1,205,556	△ 294,444	国立公園10周年記念Tシャツ 環境サポーターズキャップ
3 予備費	1 予備費	1 予備費	679,000	0	△ 679,000	
		合 計	11,200,000	9,237,885	△ 1,962,115	

歳入合計 10,718,074円 - 歳出合計 9,237,885円 = 1,480,189円 ⇒ 令和8年度繰越

令和7年度 入域料事業報告について

- 1 第2次妙高山・火打山地域自然資産地域計画の施行
4月15日 計画の承認（令和7年度 第1回入域料部会）
6月1日 計画施行

2 入域料充当事業

（1）ライチョウ保護対策事業

予算額 640,000 円 決算額 630,643 円

（一般会計との合算 予算額 3,200,000 円 決算額 3,153,215 円、
うち、一般会計分 予算額 2,560,000 円 決算額 2,522,572 円）

※一般会計（クラウドファンディングを含む）と合算事業

①火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務委託

予算額 340,000 円 決算額 327,800 円

（一般会計との合算 予算額 1,700,000 円 決算額 1,639,000 円、
うち、一般会計分 予算額 1,360,000 円 決算額 1,311,200 円）

※下線は委託料総額

場 所 ライチョウ平事業区

内 容 ・環境改善事業（イネ科植物除去作業）
・環境改善事業前後の植生調査
・センサーカメラ調査
・ライチョウ捕食者に係る糞採取



イネ科植物除去作業

②頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査委託

予算額 200,000 円 決算額 198,000 円

（一般会計との合算 予算額 1,000,000 円 決算額 990,000 円、
うち、一般会計分 予算額 800,000 円 決算額 792,000 円）

※下線は委託料総額

場 所 火打山及び焼山周辺

内 容 個体数調査等

結 果 32羽を確認

（内訳）

・火打山 26羽

・焼山 6羽



火打山のライチョウ（令和7年8月撮影）

③ライチョウ捕食動物糞のDNA調査委託

予算額 100,000 円 決算額 100,000 円

(一般会計との合算 予算額 500,000 円 決算額 500,000 円、
うち、一般会計分 予算額 400,000 円 決算額 400,000 円)

※下線は委託料総額

内 容 ・ 上記①で採取したライチョウ捕食者の糞のDNA分析
・ DNA分析の結果、ライチョウのDNAは検出されなかった

④その他事業実施のためのボランティア保険料及び振込手数料等

決算額 4,843 円

(総額：24,215 円のうち、一般会計分 決算額 19,372 円)

(2) 登山道整備事業

予算額 1,660,000 円 決算額 1,057,943 円

①妙高山・火打山地域における登山道整備事業（市実施事業費へ充当）

予算額 1,500,000 円 決算額 947,100 円

場 所 妙高山登山道 大谷ヒュッテから天狗堂方面等（約 680mの区間）

※詳細は別紙のとおり

内 容 過去の近自然工法による整備箇所等の修復



修復前



修復後

②火打山登山道足洗い場設置

予算額 50,000 円 決算額 2,922 円

場 所 笹ヶ峰登山口付近

内 容 足洗い場の設置（令和5年度から）
6月30日設置、11月4日撤去



足洗い場

③登山者カウンター設置

予算額 110,000 円 決算額 106,700 円

場 所 笹ヶ峰登山口付近

内 容 登山者カウンター（赤外線センサー式）の更新

④その他材料費及び振込手数料等

決算額 1,221 円

(3) オオハンゴンソウ駆除事業 ※一般会計と合算事業

予算額 300,000 円 決算額 270,468 円

(一般会計との合算 予算額 400,000 円 決算額 360,624 円、

うち、一般会計分 予算額 100,000 円 決算額 90,156 円)

場 所 笹ヶ峰高原、燕温泉登山口周辺

内 容 ・特定外来生物であるオオハンゴンソウの駆除
・空撮によるオオハンゴンソウの生育面積調査、生育密度調査
(笹ヶ峰オオハンゴンソウ駆除作業評価業務委託)



笹ヶ峰高原



燕温泉登山口（薬師堂前）

(4) 高層湿原保全事業 ※一般会計と合算事業

予算額 500,000 円 決算額 495,589 円

(一般会計との合算 予算額 700,000 円 決算額 693,825 円、

うち、一般会計分 予算額 200,000 円 決算額 198,236 円)

内 容 ・火打山高谷池・天狗の庭湿原における植生資料、気象データ、
保全対策に係る既存文献等の収集・整理
・現地調査の手法検討及び実施計画（案）の作成
(火打山高谷池・天狗の庭湿原環境調査実施計画作成業務委託)

(5) 携帯トイレ普及事業

予算額 60,000 円 決算額 39,600 円

- 内 容 ・ 笹ヶ峰登山口、燕温泉登山口、妙高高原ビジターセンターにおける携帯トイレの配布（入域料の返礼品） 配布戸数：112 個
- ・ 笹ヶ峰登山口、燕温泉登山口に携帯トイレ回収ボックスを設置し、定期的な廃棄物の回収
- ・ トイレブースの設置（妙高山登山道：天狗堂、火打山登山道：オオシラビソ林）



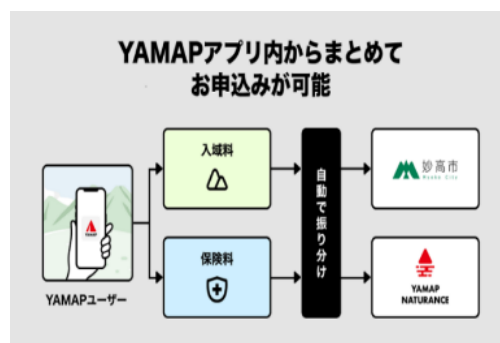
トイレブース



携帯トイレ回収ボックス

3 その他

- (1) 入域料協力者が観光施設等で割引特典を受けることができる取組の実施
- ・ 妙高高原ふれあい会館：入浴料の割引
- (2) 入域料充当事業の広報（ホームページや収受場所での掲示）
- ・ 環境会議ホームページによる実施結果の公表
 - ・ 各収受場所におけるポスターの掲示
- (3) 登山保険付き入域料
- ・ YAMAP と連携した登山保険付き入域料の仕組みを継続
 - ・ 利用者 78 人（4 月～令和 8 年 3 月末）



【別紙】整備箇所詳細



令和7年度 入域料特別会計決算報告について

1. 歳入

(単位:円)

款	項	目	予 算	決 算	差 引	備 考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	120,860	116,815	△ 4,045	会議費に対する市負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	4,800,000	5,105,500	305,500	入域料
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	5,385,508	5,385,508	0	前年度繰越金
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	93,632	11,618	△ 82,014	決算利息
合 計			10,400,000	10,619,441	219,441	

2. 歳出

(単位:円)

款	項	目	予 算	決 算	差 引	備 考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	120,860	116,815	△ 4,045	部会謝金等
	2 事務費	1 事務費	200,000	11,437	△ 188,563	収受にかかる消耗品 登山保険付き入域料手数料 ほか
	3 広告費	1 広告費	200,000	98,505	△ 101,495	入域料広告チラシ
2 事業費	1 事業費	1 ライチョウ 保護対策事業	640,000	630,643	△ 9,357	ライチョウ生息地回復調査業務委託 頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握 調査委託 ライチョウ捕食動物糞のDNA調査委託
		2 登山道整備事業	1,660,000	1,057,943	△ 602,057	登山道整備業務委託負担金 笹ヶ峰登山口 登山者カウンター更新 ほか
		3 オオハンゴン ソウ駆除事業	300,000	270,468	△ 29,532	駆除作業保険代金 駆除作業評価業務委託 ほか
		4 高層湿原保全 事業	500,000	495,589	△ 4,411	湿原環境調査実施計画作成業務委託
		5 収受員賃金	400,000	194,007	△ 205,993	笹ヶ峰登山口収受員賃金
		6 調査員賃金	0	0	0	
		7 燕管理費	60,000	61,049	1,049	燕登山口収受・返礼品管理
		8 協力者記念品	1,600,000	1,520,684	△ 79,316	ビンパッジ800個(妙高山・火打山 各400個) 木製キーホルダー10,000個 ほか
		9 携帯トイレ 普及事業	60,000	39,600	△ 20,400	携帯トイレ150個
	2 繰越事業費	1 繰越事業費	4,565,508	6,122,701	1,557,193	次年度以降の事業実施に向けた 積立
3 予備費	1 予備費	1 予備費	93,632	0	△ 93,632	
合 計			10,400,000	10,619,441	219,441	

歳入合計 10,619,441円 - 歳出合計 10,619,441円 = 0円

監 査 報 告 書

令和7年度の生命地域妙高環境会議会計の経理について監査を実施しましたので、その結果を下記のとおり報告します。

記

1. 監査年月日 令和 8 年 4 月 24 日
2. 監査事項 令和7年度 生命地域妙高環境会議一般会計
 令和7年度 生命地域妙高環境会議入域料特別会計
3. 監査結果 経理については、関係諸帳簿及び証拠書類ともよく整理され、事務は適正に執行されていることを認めました。

監 事

菅野 由起子



令和8年度 生命地域妙高環境会議事業計画（案）について

1 生物多様性保全活動の推進

(1) いもり池スイレン駆除活動

予算額 3,800,000 円

- ・池の平温泉区協議会や環境省等との協働によるスイレン駆除
- ※専用ボートによるスイレン駆除作業（春・秋2回実施）
- ※防草シートの湖底への敷設 1,200 m²

(2) オオハンゴンソウ駆除活動

予算額：100,000 円（入域料会計との合算 予算額 400,000 円
うち、入域料会計分 予算額 300,000 円）

- ・笹ヶ峰高原及び燕温泉登山口にてオオハンゴンソウ駆除
- ・空撮によるオオハンゴンソウの生育面積調査、生育密度調査
（笹ヶ峰オオハンゴンソウ駆除作業評価業務委託）

(3) いもり池湿原ヨシ刈り活動

予算額 30,000 円

- ・いもり池湿原南端一部にてヨシ刈り

2 プロジェクトの推進

(1) 火打山自然再生プロジェクト

予算額 2,565,000 円（入域料会計との合算 予算額 2,850,000 円
うち、入域料会計分 予算額 285,000 円）

※クラウドファンディング及び入域料を充当して実施するため、生命地域妙高環境会議入域料会計と合算。

①火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務委託

予算額：1,665,000 円（入域料会計との合算 予算額 1,850,000 円
うち、入域料会計分 予算額 185,000 円）

②頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査委託

予算額： 900,000 円（入域料会計との合算 予算額 1,000,000 円
うち、入域料会計分 予算額 100,000 円）

③ライチョウ捕食動物糞のDNA調査委託

実施なし。

※過去3年の調査でライチョウのDNAが検出されなかったことを踏まえて実施しないもの。なお、個体数の大きな減少等があった場合には再開することを想定。

(2) 奥山、里山、里川の再生・保全プロジェクト

① 渋江川クリーン作戦

予算額 20,000 円

・ 渋江川の清掃活動

② 里川保全負担金

予算額 61,000 円

・ 里川の環境や生態系の保全のための関川水系の監視や現況調査を行う関川水系漁業協同組合への負担金。

(3) 高層湿原保全事業

予算額：700,000 円（入域料会計との合算 予算額 2,000,000 円

うち、入域料会計分 予算額 1,300,000 円）

・ R7 年度に作成した調査計画に基づく火打山高谷池湿原等の現地踏査、気象観測・地下水位観測機器設置及び分析

3 情報発信機能の充実

○環境会議公式ホームページによる情報発信

○火打山登山道でのスマートフォンを活用した自然環境等の情報提供システム「火打山ナビ」の運用

4 環境サポーターズ制度の運営

○生物多様性保全活動やプロジェクトを実施するためのボランティア団体の運営及び会員募集（令和6年度から、団体登録を開始。登録した団体名はホームページに掲載）

○環境サポーターズ加入者には、国立公園オリジナルTシャツ及び活動キャップの進呈

5 希少野生動植物保護活動

○妙高市希少野生動植物保護条例に基づく指定希少野生動植物の保護

・ 指定希少野生動植物捕獲禁止の啓発看板設置（4月から10月まで）

・ 希少野生動植物保護監視員による監視及び指導活動（通年）

・ 指定希少野生動植物の現地調査（年2回）

○高山植物等の保護に向けた啓発活動の実施

・ 盗掘防止看板の設置（6月から10月まで）

6 夢見平湿原保全活動

○夢見平湿原・遊歩道の陸地化箇所の現況確認等

7 笹ヶ峰高原除草清掃活動（環境省委託費充当事業）

○笹ヶ峰集団施設地区歩道草刈り及び清掃活動

- ・遊歩道の草刈り、倒木処理及び清掃活動等（6月から10月まで）

8 自主財源確保に向けた取組

○自然環境保全のための入域料の収受の実施（環境会議入域料部会）

目標額 490 万円

○各種寄附金の受付

≪関連事業≫（市環境生活課）

- ・ライチョウ保護のためのクラウドファンディングの実施

目標額 160 万円（予定）

- ・（仮称）いもり池の景観保護のためのクラウドファンディングの実施

目標額 100 万円（予定）

9 その他

○いもり池周辺環境保全作業

○山岳環境保全のための登山道整備員育成

令和8年度 生命地域妙高環境会議一般会計予算（案）について

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	備 考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	8,624,323	9,174,928	△ 550,605	市負担金 ※クラブファンディング 2,460,800円含む
2 補助金	1 補助金	1 補助金	0	0	0	
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	1,480,189	1,295,051	185,138	令和7年度繰越金
4 受託費	1 受託費	1 受託費	668,000	668,000	0	環境省委託費
5 諸収入	1 諸収入	1 雑収入	77,488	62,021	15,467	各種寄附、決算利息
		合計	10,850,000	11,200,000	△ 350,000	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	比 較	備 考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	380,000	380,000	0	委員謝金、費用弁償
	2 事務費	1 事務費	1,000,000	1,000,000	0	事務消耗品、車両管理費 ほか
2 事業費	1 事業費	1 スイレン駆除	3,800,000	3,650,000	150,000	防草シート、刈取委託、関係 資材、保険代金 ほか
		2 オオハンゴンソウ 駆除	100,000	100,000	0	駆除作業評価業務委託、 保険代金
		3 ライチョウ保護・ 火打山自然再生	2,565,000	2,560,000	5,000	生息地回復調査業務委託、 個体群生息地実態把握調査 委託 ほか
		4 渋江川クリーン 作戦	20,000	20,000	0	保険代金、消耗品
		5 里川保全負担金	61,000	61,000	0	里川保全負担金
		6 希少野生動植物 保護活動	50,000	50,000	0	調査に伴う有識者謝金
		7 高層湿原保全事業	700,000	200,000	500,000	現地踏査、観測機器設置等 委託
		8 いもり池ヨシ刈り	30,000	30,000	0	保険代金、消耗品
		9 夢見平湿原保全 活動	70,000	70,000	0	有識者謝金、消耗品
		10 笹ヶ峰高原除草 清掃活動	650,000	650,000	0	環境省委託費充当事業
		11 ホームページ 運営費	250,000	250,000	0	ホームページ保守・改修委託
		12 環境サポーターズ 制度推進費	350,000	1,500,000	△ 1,150,000	環境サポーターズキャップ 作製
3 予備費	1 予備費	1 予備費	824,000	679,000	145,000	
		合計	10,850,000	11,200,000	△ 350,000	

※項目間の流用を可とする。

令和 8 年度 入域料事業計画（案）について

1 入域料の収受実施内容

（1）収受場所

- ①笹ヶ峰登山口 ②燕温泉登山口 ③新赤倉登山口
- ④妙高高原ビジターセンター ⑤インターネットを利用した事前決済

（2）収受期間

令和 8 年 6 月 1 日（月）から 10 月 31 日（土）まで

※第 2 次妙高山・火打山地域自然資産地域計画に定める収受期間は、7 月 1 日から 10 月 31 日までを基本としているが、6 月頃から登山者の活動が盛んになるため、試験的に 6 月 1 日から開始するもの。

（3）収受方法

①笹ヶ峰登山口

- ・土日祝日等の登山者が多く見込まれる日の午前 5 時から午前 10 時まで収受員を配置し、収受を行う。
- ・収受員賃金等の収受コストの効率化を図るため、収受員の配置日数は概ね令和 7 年度実績を上限とする。
- ・収受員配置時は、PayPay での収受も受け付ける（R 5 年度から導入）。
- ・その他は終日入域料箱による収受を行う。

②燕温泉登山口

- ・終日入域料箱による収受を行う。

③新赤倉登山口（スカイケーブル乗り場）

- ・終日入域料箱による収受を行う。

④妙高高原ビジターセンター

- ・入域料の取組の周知を目的に、入域料箱による収受を行う。（開館時のみ）

⑤インターネットを利用した事前決済

- ・Syncable による事前決済（R 3 年度から導入）
- ・ヤママップと連携した登山保険付き入域料による事前決済（R 6 年度から導入）
- ・ヤママップと連携した YAMAP アプリ上での入域料収受に関する検討

（4）金額

500 円（任意）

（5）返礼品

- ・木製キーホルダー又は携帯トイレ
- ・ライチョウピンバッジ（妙高山・火打山の 2 種類、1,000 円以上の寄附者）

2 入域料充当事業

(1) ライチョウ保護対策事業

予算額 285,000 円（一般会計との合算 予算額 2,850,000 円
うち、一般会計分 予算額 2,565,000 円）

※一般会計（クラウドファンディングを含む）と合算事業

①火打山周辺におけるライチョウ生息地回復調査業務委託

予算額：185,000 円（一般会計との合算 予算額 1,850,000 円
うち、一般会計分 予算額 1,665,000 円）

場 所：ライチョウ平事業区

内 容：・環境改善事業（イネ科植物除去作業）
・センサーカメラ調査

②頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態把握調査委託

予算額：100,000 円（一般会計との合算 予算額 1,000,000 円
うち、一般会計分 予算額 900,000 円）

箇 所：火打山及び焼山周辺

内 容：・繁殖期及び非繁殖期におけるライチョウ個体数調査
※センターカメラによる大型哺乳類の生息実態調査は3年1度を
基本として実施。（次回は令和9年度に予定）

③ライチョウ捕食動物糞のDNA調査委託

実施なし。

※過去3年の調査でライチョウのDNAが検出されなかったことを踏まえて実施しない
もの。なお、個体数の大きな減少等があった場合には再開することを想定。

(2) 登山道整備事業

予算額 2,200,000 円

①妙高山・火打山地域における登山道整備事業（市実施事業費へ充当）

予算額：2,000,000 円

箇 所：妙高山登山道 天狗堂から光善寺池上 ほか

※詳細は別紙のとおり

内 容：近自然工法による登山道の洗堀箇所の修復、植生回復等

②火打山登山道足洗い場設置

予算額：30,000 円

箇 所：笹ヶ峰登山口付近

内 容：足洗い場の設置、維持管理

生態系保全のための「入山前の種子落とし」であることの周知

③登山道整備資材購入

予算額：170,000 円

内 容：登山道修復のための麻袋等の資材購入

(3) オオハンゴンソウ駆除事業 ※一般会計と合算事業

予算額：300,000 円（一般会計との合算 予算額 400,000 円

うち、一般会計分 予算額 100,000 円）

箇 所：笹ヶ峰高原、燕温泉登山口周辺

内 容：・特定外来生物であるオオハンゴンソウの駆除
・空撮によるオオハンゴンソウの生育面積調査、生育密度調査
（笹ヶ峰オオハンゴンソウ駆除作業評価業務委託）

(4) 高層湿原保全事業 ※一般会計と合算事業

予算額：1,300,000 円（一般会計との合算 予算額 2,000,000 円

うち、一般会計分 予算額 700,000 円）

内 容：・R7年度に作成した調査計画に基づく火打山高谷池湿原等の現地踏
査、気象観測・地下水位観測機器設置及び分析

(5) 携帯トイレ普及事業

予算額：160,000 円

内 容：・携帯トイレの普及啓発、利用者実態調査の実施
・各登山口などでの携帯トイレの配付（入域料の返礼品）
・携帯トイレ回収ボックス、トイレブースの設置

3 その他

(1) 入域料協力者が観光施設等で割引特典（入浴の割引など）を受けることがで
きる取組の継続、拡大検討

(2) 入域料充当事業の広報（ホームページや収受場所での掲示）

【別紙】整備箇所詳細



令和8年度 入域料特別会計予算（案）について

1. 歳入

(単位：円)

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	前年比	備考
1 負担金	1 負担金	1 負担金	120,860	120,860	0	会議費に対する市負担金
2 協力金	1 協力金	1 協力金	4,900,000	4,800,000	100,000	入域料 @500円×9,800名
3 繰越金	1 繰越金	1 繰越金	6,122,701	5,385,508	737,193	前年度からの繰越金（積立分）
4 諸収入	1 諸収入	1 諸収入	86,439	93,632	△ 7,193	預金利息等
		合計	11,230,000	10,400,000	830,000	

2. 歳出

(単位：円)

款	項	目	本年度予算額	前年度予算額	前年比	備考
1 運営費	1 会議費	1 会議費	120,860	120,860	0	部会謝金等
	2 事務費	1 事務費	200,000	200,000	0	収受にかかる消耗品 登山保険付き入域料手数料 ほか
	3 広告費	1 広告費	200,000	200,000	0	入域料告知チラシ
2 事業費	1 事業費	1 ライチョウ 保護対策事業	285,000	640,000	△ 355,000	ライチョウ生息地回復調査業務委託 頸城山塊ライチョウ個体群生息地実態 把握調査委託
		2 登山道整備事業	2,200,000	1,660,000	540,000	登山道整備業務委託負担金 火打山登山道足洗い場設置 登山道整備資材購入 ほか
		3 オオハングン ソウ駆除事業	300,000	300,000	0	駆除作業保険代金 駆除作業評価業務委託
		4 高層湿原保全 事業	1,300,000	500,000	800,000	現地踏査、観測機器設置等委託
		5 収受員賃金	300,000	400,000	△ 100,000	笹ヶ峰登山口収受員賃金
		6 燕管理費	70,000	60,000	10,000	燕登山口収受・返礼品管理
		7 協力者記念品	1,600,000	1,600,000	0	木製キーホルダー（@110円×10,000個） ピンバッジ（@500円×400個×2種） ピンバッジ台紙作成・印刷
		8 携帯トイレ 普及事業	160,000	60,000	100,000	携帯トイレ（@280円×240個） 携帯トイレブース、看板 携帯トイレ利用実態調査等
	2 繰越事業費	1 繰越事業費	0	4,565,508	△ 4,565,508	
3 予備費	1 予備費	1 予備費	4,494,140	93,632	4,400,508	次年度以降の事業実施に向けた積立含む ※令和7年度までは繰越事業費で計上
		合計	11,230,000	10,400,000	830,000	

※項目間の流用を可とする。